

町民にインタビュー

むらかみ かな

村上佳奈さん（西清水）



子連れでもくつろげる空間をつくりたい！

— 清水町に来たきっかけは。

あすなるファーマーミングの後継者である夫の悦啓さんと故郷の香川県で出会い、結婚を機に清水町に来ました。

— 清水町の魅力は何だと思えますか。

町をあげてのイベント（お祭りなど）が多いことです。たくさんの人と会える機会であり、会話を通じて地域とのつながりを感じることができることがうれしいです。

— 清水町の子育て環境はどうですか。

保育所に通う双子の女の子の母ですが、高校生まで医療費が無料なのはとてもうれしいです。子どもを思いっきり遊ばせることができる、遊具の充実した公園があるというなと思います。

— 議会だよりは読んでいますか。

毎号気になるところは読んでいます。前号の表紙は息子たちが通っている保育所の運動会の写真でしたが、議員自らがカメラを持って撮影している姿はこれまでになかったかと思えます。素人らしい写真（笑）が逆にいいなと思いました。

— 町政に望むことはありますか。

4月からごみの分別が変わり、燃やせないごみの量が増えたので、月の収集回数を見直してほしいです。

— 将来の夢はありますか。

子連れでも気兼ねなく入れてくつろげるカフェのような空間をつくるのが夢です。清水公園へ遊びに来たついでに寄っていただきたいです。

議会を傍聴してみませんか

開会
12月10日

12月定例会は、12月10日に開会を予定しています。

傍聴は審議の状況を直接ご覧になれる身近な方法です。役場3階に、お気軽にお越しください。

詳細は、12月上旬に発行する新聞チラシ折込をご覧ください。

清水町議会ホームページでも生中継や録画中継がご覧になれます。

表紙の写真

御影秋まつり 子ども相撲

9月12日、御影神社境内。

今では珍しくなった子ども相撲。

土俵づくりに60年も携わっている山崎さん（表紙写真左から1人目）。

24歳から行司をしている水津さん（表紙写真右から1人目）。

仲間たちと伝統の相撲を引き継いでいます。

その原動力は子どもたちの笑顔です。

撮影：広報広聴常任委員会 中河 つる子

